

MSN-06S SINANJU

NEO ZEON MOBILE SUIT CUSTOMIZED FOR NEWTYPE



1/100 scale MASTER GRADE MSN-06S SINANJU



ネオ・ジオン ニュータイプ専用モビルスーツ
MSN-06S「シナンジュ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Page secured by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の責任でお願いします。



ネオ・ジオン ニュータイプ専用モビルスーツ
MSN-06S「シナンジュ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

MSN-06S SINANJU

機動戦士 ガンダムユニコーン MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN

STORY

ストーリー

宇宙世紀0096年。開放されれば地球連邦政府を転覆しかねないと言われる『ラプラスの箱』を巡って、連邦軍のロンド・ベルとネオ・ジオン残党軍『袖付き』による争乱が勃発。工業用コロニー〈インダストリアル7〉に広がる戦火の中、そこに住まう少年バナージ・リンクスはジオン公国の祖、ザビ家の末裔ミネバ・ラオ・ザビに導かれ、箱の鍵となるモビルスーツ『ユニコーンガンダム』と運命的な出会いを果たした。父カーティアス・ビストの遺志を受け継いで『ユニコーンガンダム』のパイロットとなったバナージは、どちらの軍にも属することなく独自の道を歩んでいくこととなる。疲れた中年オットー・ミタスが艦長を務めるロンド・ベルの〈ネェル・アーガマ〉、強化人間マリダー・クルスを擁し、スベロア・ジンネマンを隊長とする『袖付き』の行動部隊『ガランシェール』、そして『袖付き』の拠点である資源衛星〈パラオ〉……連邦・ジオン双方の人間と関わり、望まぬ戦いと別れを繰り返しながらも、自らの役目を徐々に見だしていくバナージ。その成長の道程を冷たく見据えるは、シャア・アズナブルの再来と噂される『袖付き』の首魁——『丸裸』を意味する名前とは裏腹に、謎めいた言動で世界を翻弄するフル・フロンタルという男だった。『ラプラスの箱』とは何か、それが抱く秘密とは何か……。宇宙と地球の人間たちの思惑は複雑に交差し、緩やかに、だが確実に宇宙世紀100年の呪いは解かれようとしていた。

MSN-06S SINANJU

宇宙世紀0094年。AE（アナハイム・エレクトロニクス）社の貨物船団が襲われ、大量の物資が強奪される事件が発生する。貨物の中には、地球連邦軍による宇宙軍再建計画の一環『UC計画』に組み込まれていた複数のAE社製試作モビルスーツが含まれていた。その内の一機は、最新のサイコミュ技術『サイコフレーム』の強靱性・追従性をテストするため、一般パイロットの操縦では計測不能な限界数値を取得するべく、機械上での試験を主とした“極めて端的”な機体であった。ファンネル等のサイコミュ遠隔操作兵器は一切設定されておらず、標準範囲に対応した最低限の武装に止められていたことも加え、戦闘兵器としてはバランスの悪いモビルスーツと言えたが、その評価は常人による皮相的な見方でしか無かった——その機体は、開発コードに〈原石〉と記されていたのだから。犯行はネオ・ジオン残党の手によるものと断定されたが、連邦政府を震撼せしめたのはその首謀者の存在であった。『フル・フロンタル』と名乗る男の登場は、後に『袖付き』と仇名される新たなネオ・ジオン残党軍の蜂起を十分に予感させる熱気を孕んでいたのである。非現実的な性能を掌握するためには、同様に非現実的な技能を持った搭乗者が必要となる。強奪された“極めて端的な原石”は、シャアの再来と噂されたフロンタルの新たな乗機として、かくあるべき姿へと磨かれていった。背面と脚部に備える大型推進器『フレキシブル・スラスター』はユニット自体が可動機構を有しており、いかなる姿勢にあっても驚異的な推力で操縦者の機動イメージを具現化する。改修以前から装甲部の更新によって巨大な翼を想起させるようになったユニット形状は、最大出力時にフロンタルの技量とリンクすることによって、まさにその見た目通り“羽ばたく”のである。これらが生み出す高次元の機動と、真紅に塗り替えられたカラーリングを纏った雄々しい姿は、不確かな噂を確かな真実へと変える力として内外問わず十分に作用したという。フル・フロンタルを『赤い彗星』として認めざるを得ない説得力を与えた専用モビルスーツ、それがMSN-06S（シナンジュ）なのである。



ARMAMENTS & WEAPONS

本機の武装類は、改修前の〈シナンジュ・スタイン〉と呼ばれる仕様に設定されていたものから、『袖付き』が独自に用意した専用兵装に更新が行われた。

【**ビーム・サーベル／ビーム・アックス**】本機の近接兵装は、両前腕部のムーバブルサーベルラックに収納装備するビーム・サーベルを初めとして、高出力のビーム・アックスをシールド裏面に装備している。サーベルは取り出さずとも前方に展開させた状態のままビーム刃を発振することができ、携行火器を保持した状態でも直感的な対応を可能とする。アックスも同様にシールド裏のマウントアームによる展開発振を行えるほか、出力の切り替えによってソード・アックスへと刀身形状を変化させる。また、アックスユニット2基を連結すれば、柄の両端からソード・アックスを同時形成するビーム・ナギナタの使用も可能であり、まさに変幻自在の近接攻撃を行う。

【**ビーム・ライフル**】強奪後に『袖付き』が用意していた、専用開発のビーム射撃兵器。通常は腰部にマウントする。ライフル自体、一般の物に比べて高出力ではあるが、特殊な機能は備えられていない。だが、それを操るフロンタルの精密な射撃能力により、単なる数値では表せない脅威を相手に示すのである。オプションの

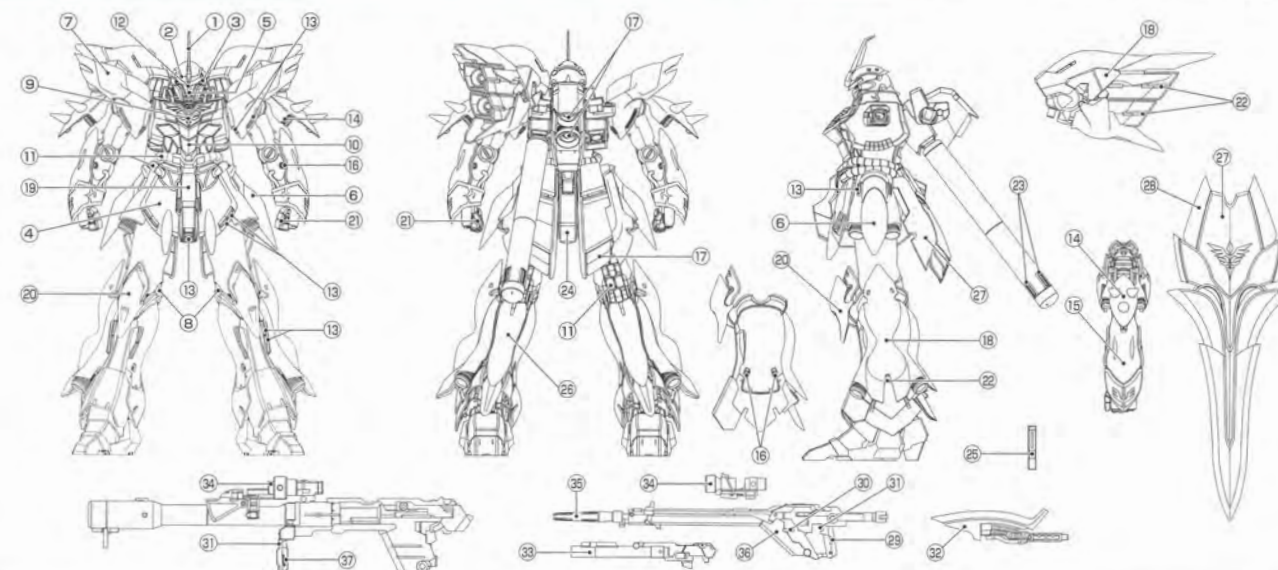


ロングレンジセンサーはさらなる狙撃能力を付加させ、銃身下部にアドオン方式のグレネード・ランチャーやバズーカを装着することによって、ビームと実体弾の併用射撃が可能となる。

【**シールド**】攻防一体の多目的防御装備。この時代はシールドに複合機能を持たせることが主流であり、前述のビーム・アックス格納、裏面先端部にはグレネード・ランチャー、さらに大型のバズーカのマウントすら可能としている。改修前の直線を主体とする連邦モビルスーツ然としたデザインから、ネオ・ジオン軍の紋章をモチーフに創り上げられた有機的な形状に改められたことで、華美な印象をより強く深めた。

【**バズーカ**】ロケット・バズーカとも呼称される、本機専用の大型実体弾火器。かつての重モビルスーツ（ドム）が装備していたジャイアント・バズの砲口近辺を想起させるデザインからも、本装備がジオン系由来の物であることがわかる。砲身の伸縮機構が採用されており、携行時の取り回しや他武装とのマウントの際に有用。縮めた際は砲弾の初速が低下するといった欠点が存在するが、どちらにせよ強大な攻撃力を〈シナンジュ〉にもたらせることに変わりはない。

Parts and spec MSN-06S SINANJU

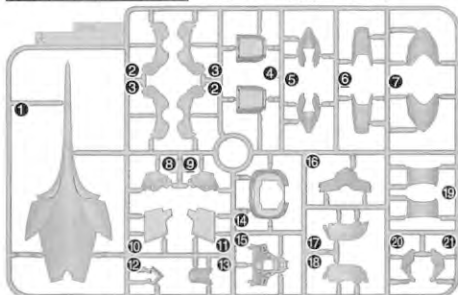


- | | | | | |
|-----------------|--------------------|----------------|-------------------|----------------|
| ① ブレードアンテナ | ⑧ プレストアーマー | ⑬ サブスラスター | ⑳ ビーム・サーベル | ㉓ グレネード・ランチャー |
| ② マルチセンサー | ⑩ コックピットハッチ | ⑭ フレキシブル・スラスター | ㉔ アクティブスラスターフィン | ㉔ ロングレンジセンサー |
| ③ 60mmバルカン | ⑪ パワーサプライケーブ | ⑮ ラジエーションユニット | ㉕ ビームレジストエリア | ㉕ マズル |
| ④ フロントスカートアーマー | ⑫ モノアイセンサー | ⑯ ニーブロックアーマー | ㉖ アンチビームコーティングエリア | ㉖ マルチジョイントフレーム |
| ⑤ フェイスガード | ⑬ 姿勢制御バーニア | ㉗ マニピュレーター | ㉗ ライフルグリップ | ㉗ バズーカグリップ |
| ⑥ アクティブサイドスラスター | ⑭ アクティブショルダーズスラスター | ㉘ メインスラスター | ㉘ エネルギーコンデンサー | |
| ⑦ ショルダーアーマー | ⑮ ムーバブルサーベルラック | ㉙ プロペラントスラスター | ㉙ トリガー | |
| ⑧ ニージョイント | ⑯ マイクロスラスター | ㉚ ベンチレートボックス | ㉚ ブレードエミッター | |

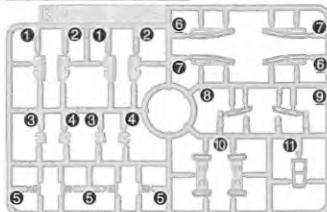
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

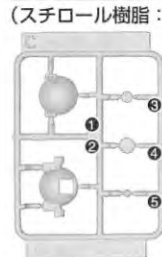
Aパーツ(ブラック) (スチロール樹脂: PS)



Bパーツ(イエロー) (スチロール樹脂: PS)

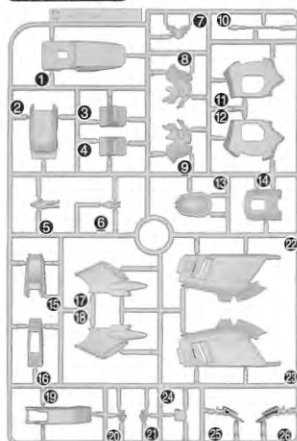


Cパーツ(クリアグリーン) (スチロール樹脂: PS)

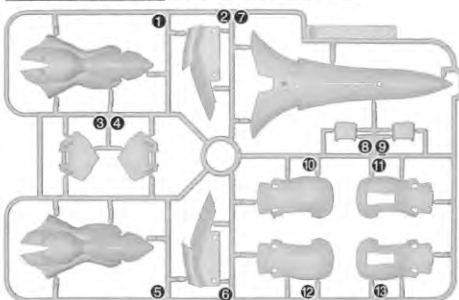


Dパーツ(レッド) (スチロール樹脂: PS)

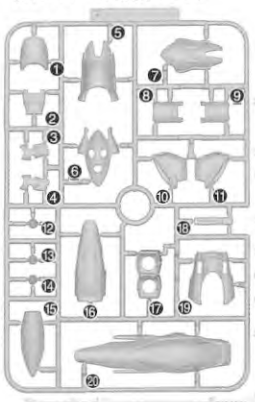
アンダーゲート有り



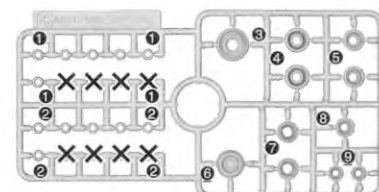
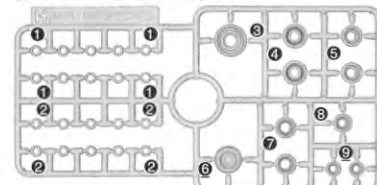
Eパーツ(レッド) (スチロール樹脂: PS)



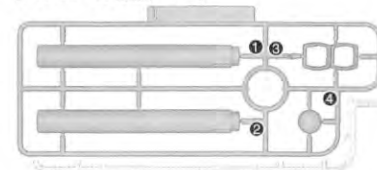
Fパーツ(レッド) (×2) (スチロール樹脂: PS)



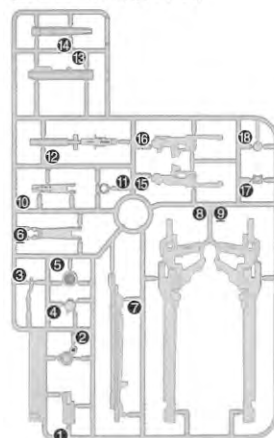
Hパーツ(グレー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



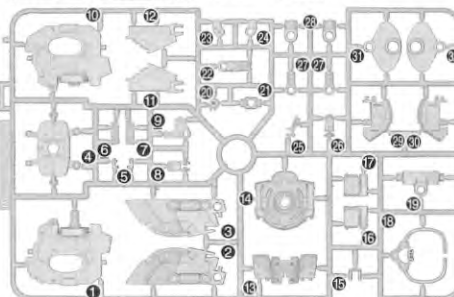
Iパーツ(ホワイト) (×2) (スチロール樹脂: PS)



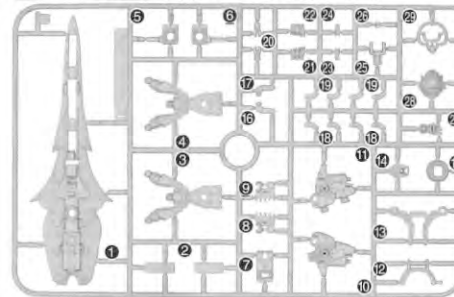
Jパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



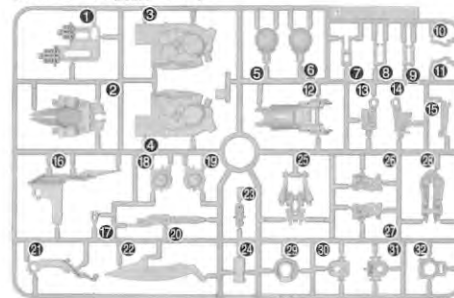
Kパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



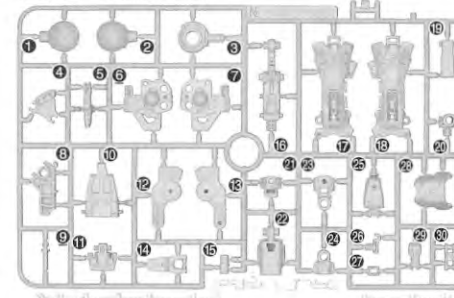
Lパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



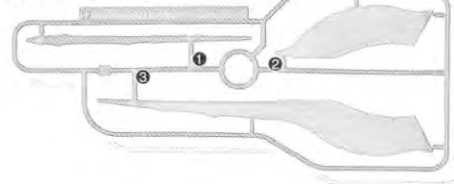
Mパーツ(グレー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



Nパーツ(グレー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



Oパーツ(クリアイエロー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



Pパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



カラーシール……………1枚
ガンダムデカル……………1枚
マーキングシール……………1枚
水転写式デカル……………1枚
パイプスプリング……………4本

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

アンダーゲートの切り方 ▶ アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※D⑩は下の図のように切り取ります。



△ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

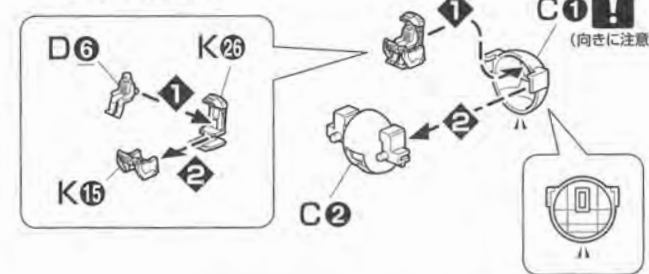
						
・線画をよるところ	・シールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
						
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

※カラーシールと水転写式デカールは選択式です。水転写式デカールは上級者向けとなっておりますので、不慣れな方はカラーシールをおすすめします。

1 BODY

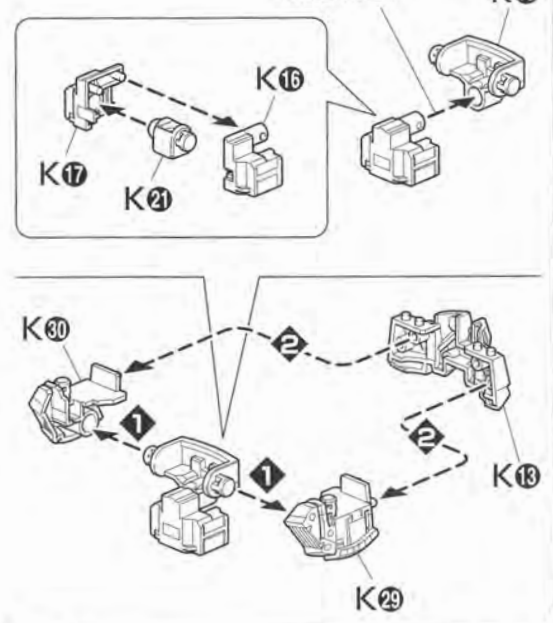
1-1 BODY

〔ボディの組立〕

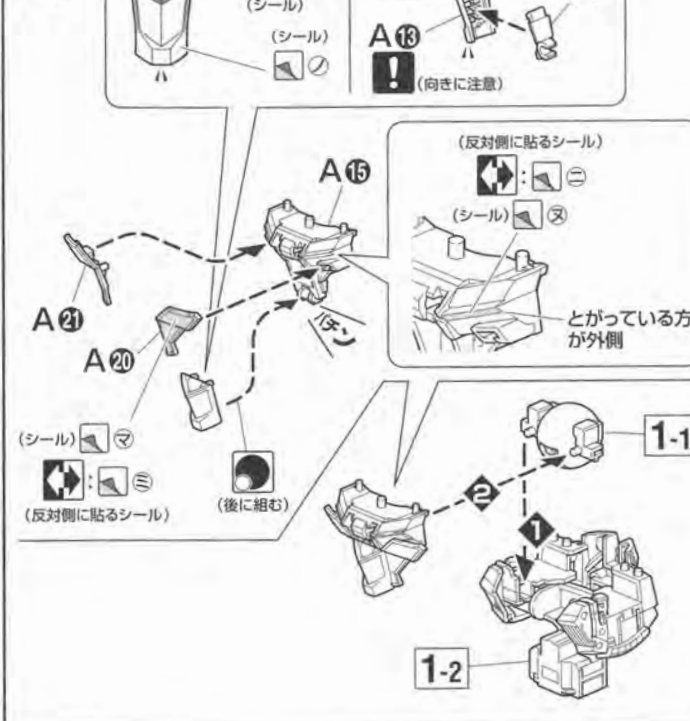


1-2

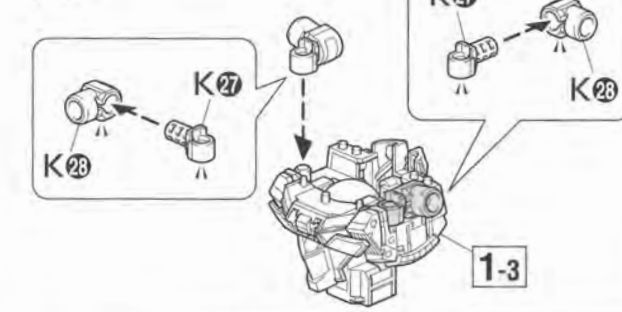
※奥までしっかりと、はめ込みます。



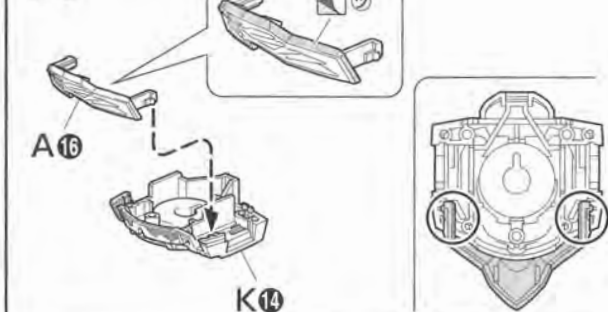
1-3



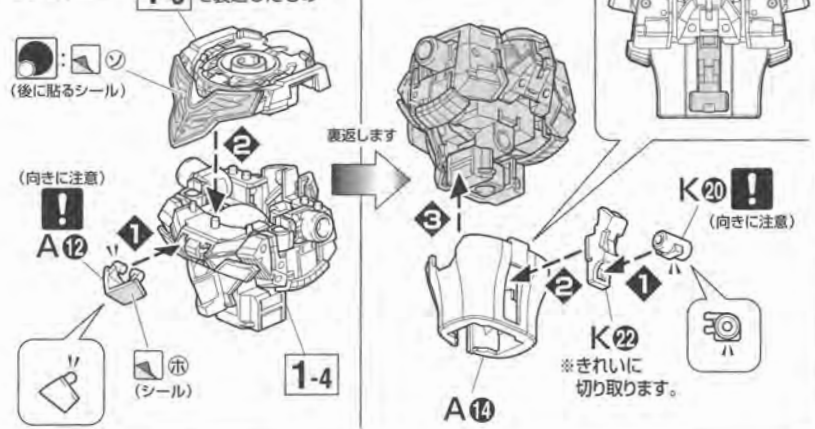
1-4



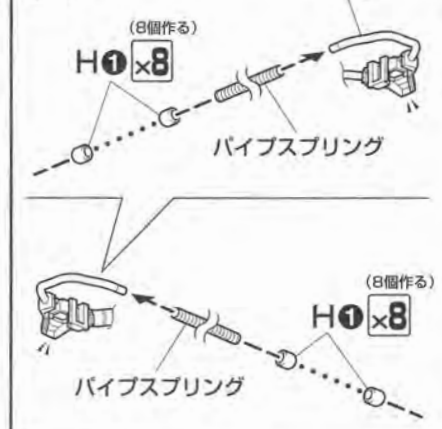
1-5



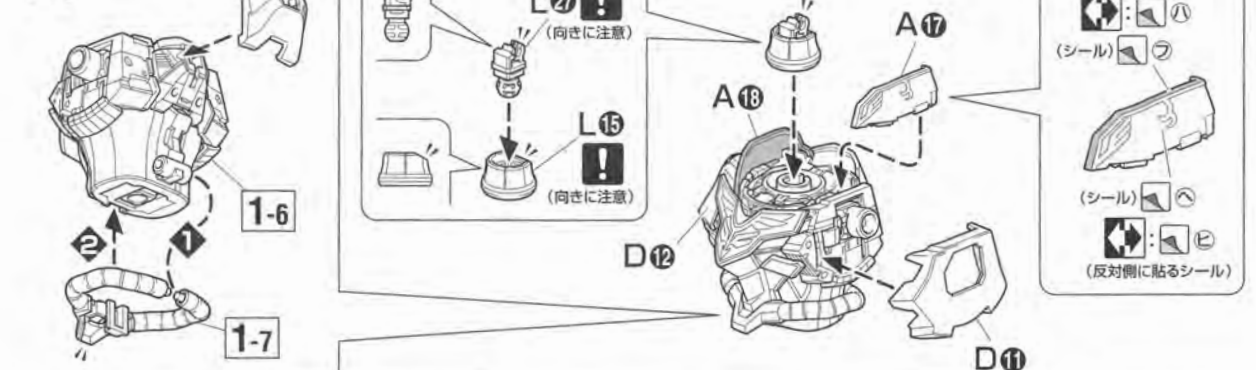
1-6



1-7



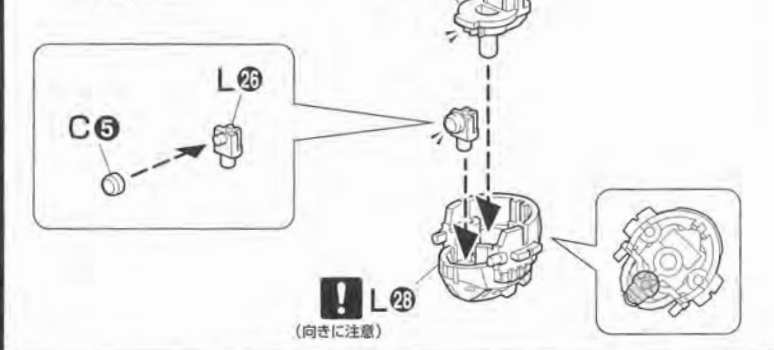
1-8



2 HEAD

2-1 HEAD

〔頭の組立〕



3-4
×2 (2個作る)

3-3

M10

前

F2

M10

F2

※M7はしっかりと
はめ込んでください。

F7

M20

※きれいに切り取ります。

(向きに注意)

! M7

1

2

前

B5

! (両側取り付ける) (向きに注意)

1

2

3

4

F4

F3

(反対側に取り付ける)

《上から見た図》

5-2

×2 (2個作る)

5-1

B4 (反対側に取り付ける)
B3 (反対側に取り付ける)
B2 (反対側に取り付ける)
B1 (反対側に取り付ける)

※きれいに切り取ります。

5-3

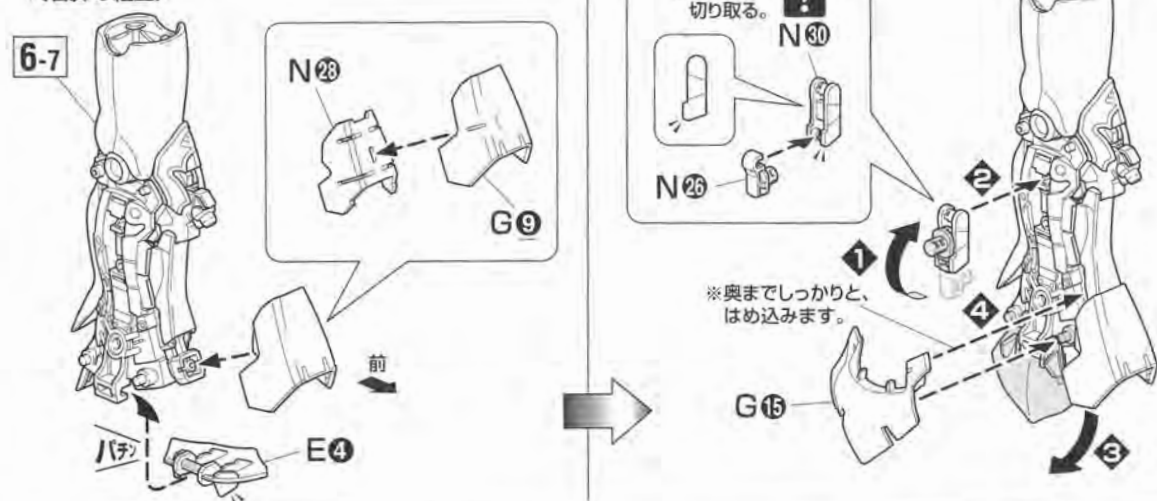
×2 (2個作る) ※各パーツはきれいに切り取ります。

M15 (両側取り付ける)
F6 (反対側に取り付ける)
H9 (反対側に取り付ける)
F12 (向きに注意)
F13 (向きに注意)
F14 (向きに注意)

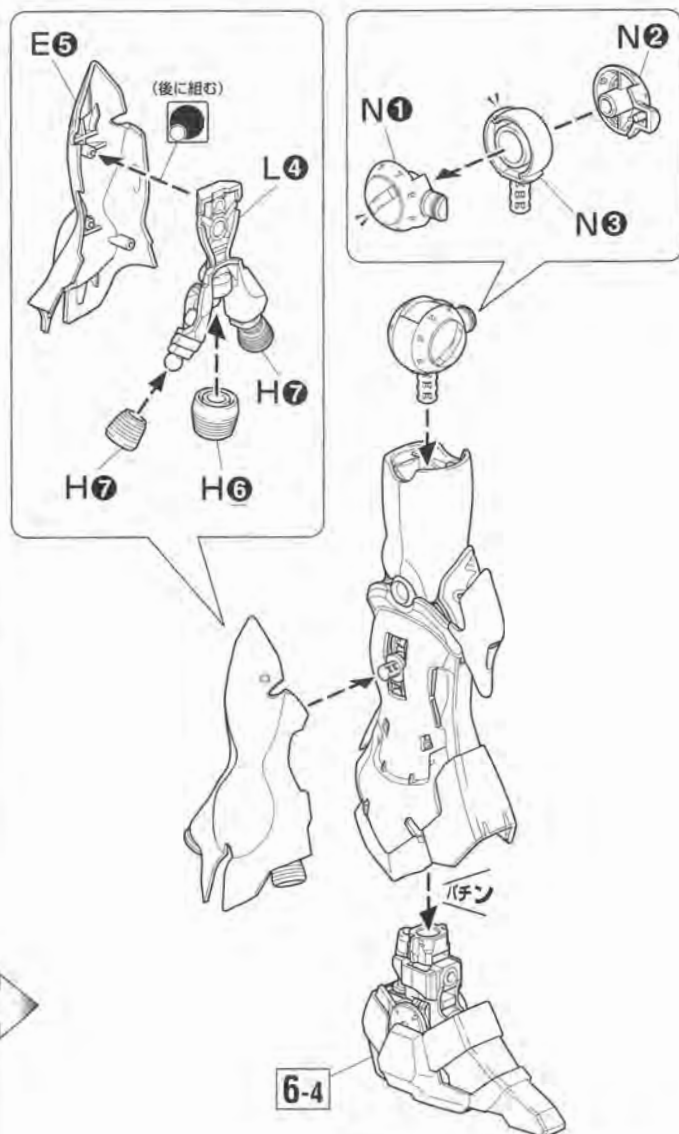
※きれいに切り取ります。

6-8 RIGHT LEG

〔右脚の組立〕

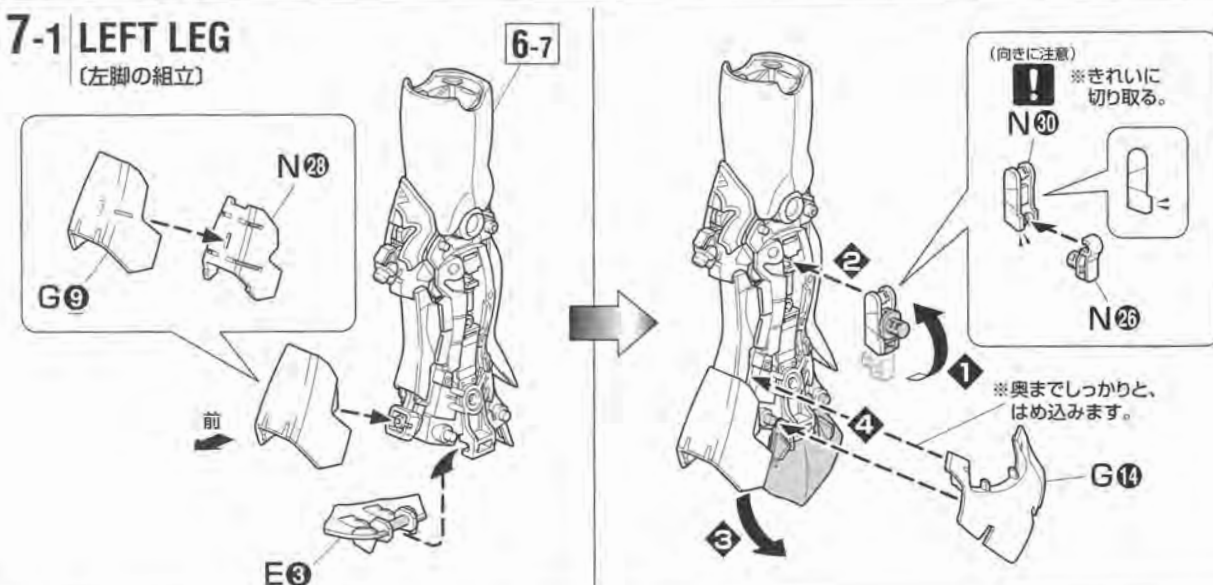


6-9

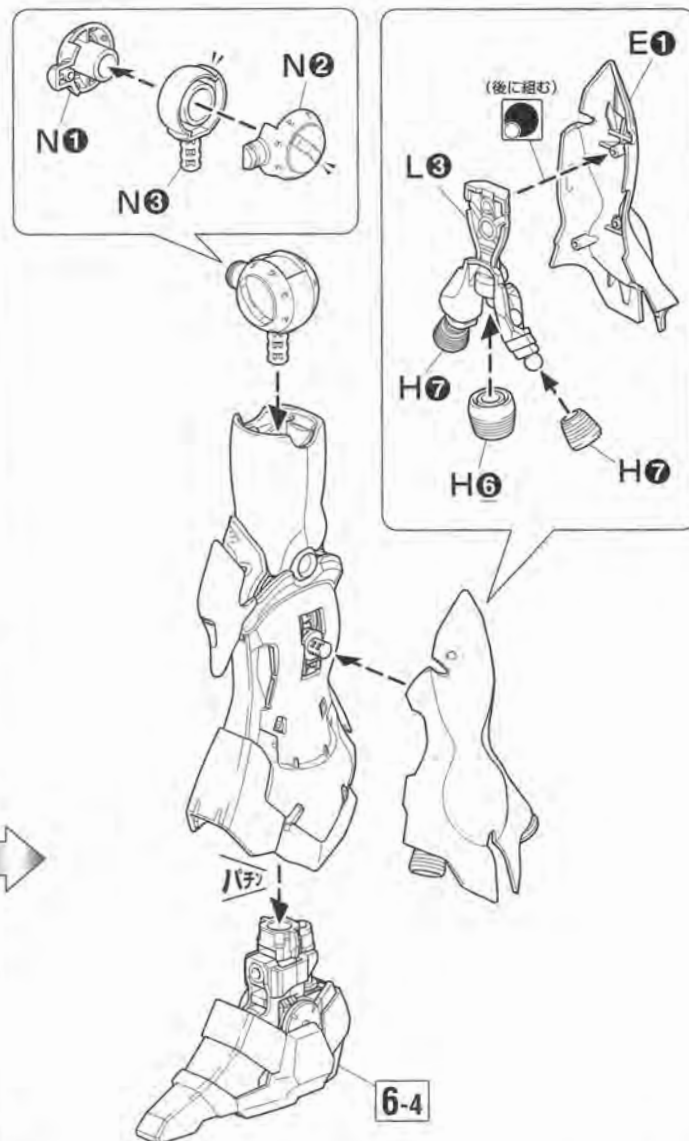


7-1 LEFT LEG

〔左脚の組立〕



7-2



U.C.0096 THE La+ MEMORY



支配を穿つ一撃

「ガロム、下だ!」その暗礁宙域は、三機のモビルスーツが駆ける戦闘空間と化していた。連邦軍のモビルスーツ(リゼル)が編隊を組み、『袖付き』一機の敵影を追う。二対一。戦力的には明らかに優勢に見えるはずの連邦側であったが、実際そうでないのは(リゼル)を駆るパイロット達が一番理解している。つい先刻まで三対一だった圧倒的な戦力差を、いとも容易く削り取られたのだから。人型を散らした爆発の光が、「赤い彗星の再来」と噂された(シナンジュ)を虚空に浮かび上がらせる。(リゼル)隊長機のパイロット、ノーム・バシリコック少佐は、かつての戦場で伝え聞き、そして自身でも目撃した特別な敵機の印象を重ね合わせ、肌を粟立たせずにいらなかった。「本物のシャアだとしても言うのか……!?」多くの実戦を経てきたノームですら惑わされてしまう、圧倒的なプレッシャー。もう一機の(リゼル)パイロット、リディ・マーセナス少尉は初めて味わう重圧に、完全に取り込まれているのがわかった。相手の圧に押されながらの攻撃は、もはや撃たされているだけで、彼が狙った光弾は全てデブリの奔流に飲み込まれていく。過去の経験でも味わってきた、強者に支配された戦い。このままでは、——俺は潮時だが、リディ少尉。お前にはやらなければならぬ事がある……! ノームの(リゼル)隊長機は一つ覚悟を決め、強者(シナンジュ)へ突貫した!!

宇宙と地球と

蹂躞と呼ぶにふさわしい、一方的な戦闘である。連邦軍の(ネール・アーガマ)に向けられた、同じ連邦の新型旗艦(ゼネラル・レビル)の殺意をはらんだ矛先が生み出した矛盾は、(ネール・アーガマ)の助け手として現れた「袖付き」——ネオ・ジオンというさらなる矛盾を呼び込んだ。その首魁、フル・フロンタルが駆る(シナンジュ)は久方ぶりの戦闘を楽しむように、連邦の配備機を翻弄しつつ目指す旗本へと喰らい込んでいく。露払いを担った(ローゼン・ズール)を加えてわずか2機の「袖付き」側の戦力に対し、大規模なビーム攪乱幕を展開した(ゼネラル・レビル)の戦術行動は、相手が「赤い彗星」ということに限れば、決して恥ずべきものではなかった。フロンタルはそれすらも想定していたのか、シールドに装着していた専用バズーカを左腕のワンアクションで切り離し、宙に放たれ円弧を描いた砲身を右手のライフルで受け止めて瞬間的に接合させる。驚愕すべきは、曲芸と見紛うほど外連味あふれるこの動作すら、彼にとっては目標に狙いを定めるための通常動作でしかないということだった。砲身を伸長させ、さらなる巨砲と化したバズーカを(ゼネラル・レビル)のブリッジに向けた(シナンジュ)。20m超のモビルスーツを遙かにしのぐスケールを持った連邦旗艦と、僅に千は超えるであろう中の乗組員たちの運命は、たった一人の男の指先にゆだねられた——。



※画像はイメージです。

PAINTING [塗装] MSN-06S シナンジュ 指定色

本体などの塗装色 モンザレッド(65%) +レッド(30%) +ホワイト(5%)	武器などの塗装色 ネービーブルー(70%) +ダークグリーン(30%)	スラスターなどイエロー部の塗装色 ホワイト(70%) + オレンジイエロー(30%) + オレンジ(少量)
関節などの塗装色 グレー(90%) + ブラック(10%)	センサーなどの塗装色 クリアー(70%) + クリアブルー(20%) + クリアイエロー(10%)	ロケット・バズーカの塗装色 グレー(85%) + ブラック(10%) + パープル(5%)
胸などの塗装色 ミッドナイトブルー(100%)	袖、胸など装飾部の塗装色 ゴールド(85%) + クリアイエロー(15%)	ロケット・バズーカ、ライトグレー部の塗装色 ホワイト(70%) + グレー(30%) + パープル(少量)

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

FIGURE フル・フロンタル

顔の塗装色 薄茶色(50%) + ホワイト(50%)	肩、襟などの塗装色 ブラック(90%) + ホワイト(10%)	
上腕の塗装色 モンザレッド(100%)	装飾の塗装色 イエロー(80%) + オレンジイエロー(20%) + ホワイト(少量)	
パンツの塗装色 ホワイト(100%)	髪などの塗装色 ホワイト(75%) + イエロー(15%) + 薄茶色(10%)	
ブーツの塗装色 ウッドブラウン(100%)		

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]

[after]

PSYCHO FRAME

ニュータイプが発する「感応波」と呼ばれる特殊な精神波を受信し、処理を行うサイコミュ装置の機能を持つコンピューターチップを金属粒子のレベルで封じ込めた構造材。膨大な容積を必要とするサイコミュ装置の大幅な小型化への貢献だけでなく、かつてのサイコミュ装置には見られなかった様々な特性を有しており、一定以上の効果を機体にもたらせるものの、その全容は未だ解明されていない。宇宙世紀0093年における「第二次ネオ・ジオン戦争」にて新生ネオ・ジオン軍の総帥専用機(サザビー)に採用されたが、奇しくも対する連邦軍の(レガンダム)にも本技術が取り入れられており、これらの共鳴を一因とする特殊な力場「サイコフィールド」の形成によって、小惑星アクシズが地球へ落下する軌道を変えるという奇跡的な現象を引き起こした。宇宙世紀0096年時点では月のグラナダ工場にのみ製造設備が存在し、機密保持も兼ねて一括管理されている。「UC計画」の中核となりうる(ユニコーンガンダム)には骨格素材にサイコフレームを使用するフル・サイコフレーム構造を採用したが、その事前検証として複数のサイコフレーム試作機が開発されていた。そのうち(シナンジュ)は強靱性・追従性をテストするためのモビルスーツだったのである。なお、(ユニコーンガンダム)がデストロイモードを発動させた際、露出した全身のサイコフレームから謎の発光現象を伴うが、その原理、個体による発光色の違いなどもすべて想定外の現象なのだ。



Flexible Thruster

バックパックに装備される翼を思わせる大型の推進器は、スラスターが展開し内部のノズルがせり出す。アフターバーナー時による驚異的な加速は、フル・フロンタルのニュータイプ特性によりシナンジュのポテンシャルを最大限に引き出すことができる。



脚部のスラスター群は、シナンジュの運動性能とあいまって、その跳躍力を活かした高速移動を可能にしている。



※画像はバンダイモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。



シナンジュやユニコーンガンダムに搭載される「インテンション・オートマチック・システム」はニュータイプパイロットの操縦イメージを機体の挙動へダイレクトに反映させることができる。

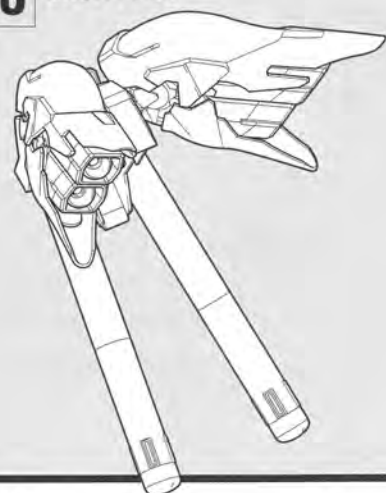
サイコフレーム搭載型モビルスーツ

※画像の商品はすべて別売りです。

MSN-06S SINANJU STEIN シナンジュ改修前の姿。あくまで後に彩られる機体の無垢、いわば原石(スチン)でしかないという開発者の指図によって名付けられた。	RX-0 UNICORN GUNDAM 「UC計画」のフラッグシップ機として、フル・サイコフレーム構造を採用した試作モビルスーツ。特殊システム「NT-D」を有する。	RX-0 UNICORN GUNDAM 02 BANSHEE バンシィは黒いユニコーンガンダム2号機の通称。増加サイコフレーム兵装「アームド・アーマー」を装備し、白い1号機よりも完成度は高い。	MSN-04 SAZABI 新生ネオ・ジオンの象徴ともいえる。総帥・シャア・アズナブルが搭乗した専用機。重装甲・高出力、豊富な武装が施されている。	RX-93 V GUNDAM アムロ・レイが基礎設計をし、AE社が開発を行った。ガンダム系モビルスーツとしては、初めてサイコミュを本格採用した機体。
---	---	---	--	---



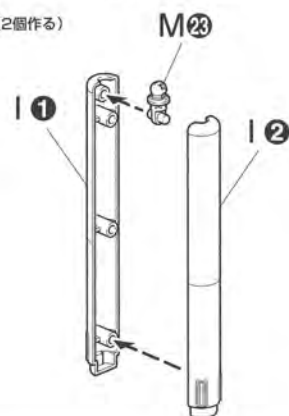
10 BACK PACK



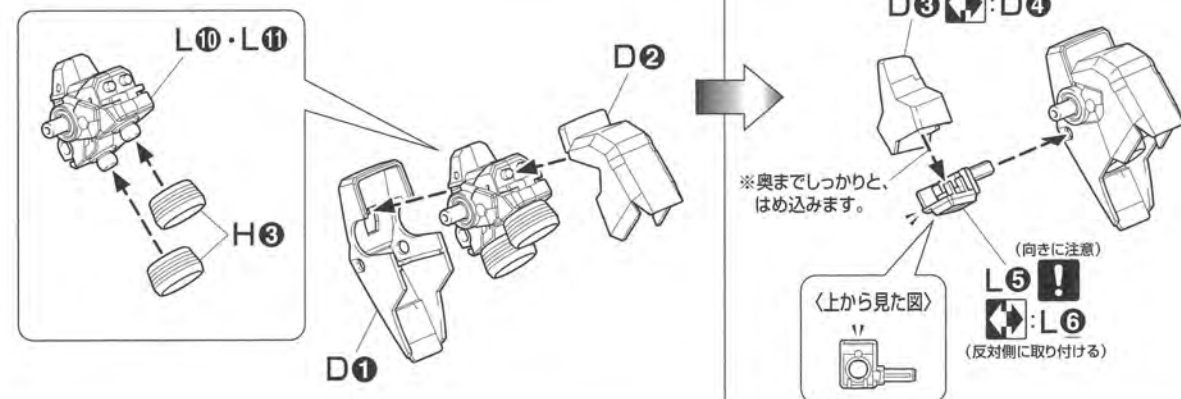
10-1 BACK PACK

(バックパックの組立)

x2 (2個作る)

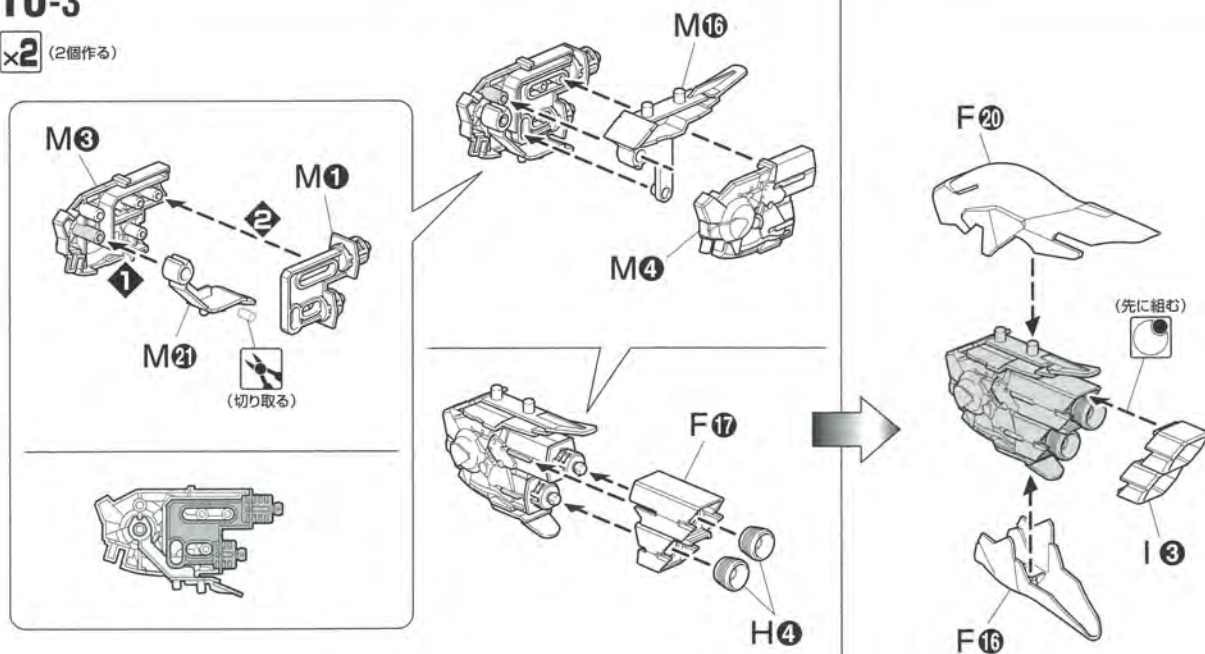


10-2

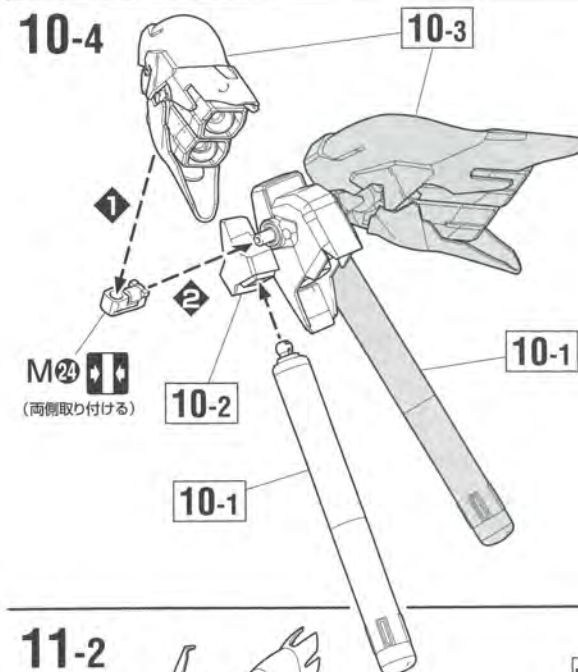


10-3

x2 (2個作る)

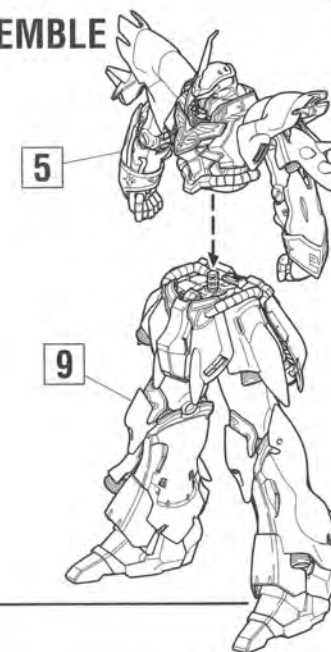


10-4

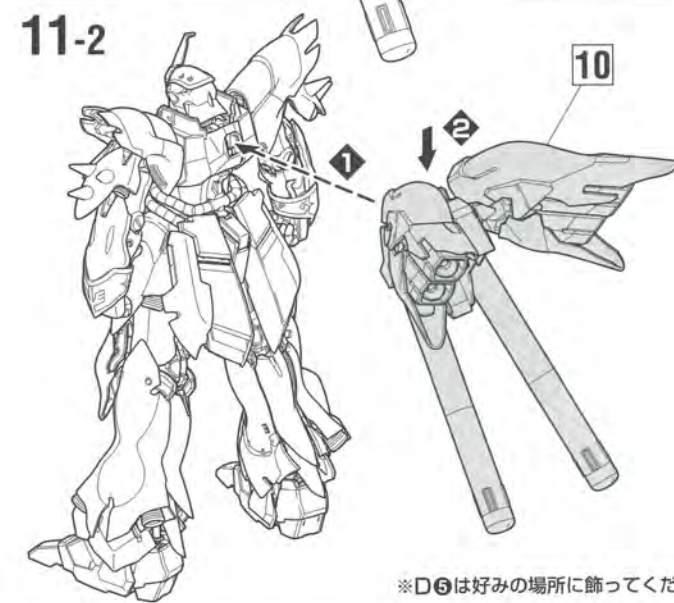


11-1 BODY ASSEMBLE

(本体の組立)



11-2



〈コックピットハッチの開け方〉



※説明のため、一部イラストを省略しています。

12 BEAM RIFLE



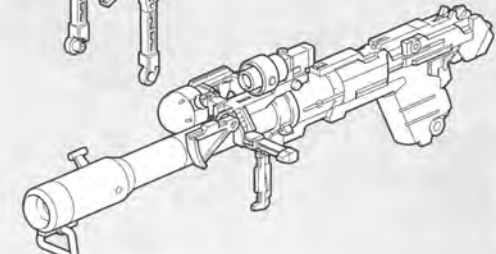
13 SHIELD



14 BEAM AXE

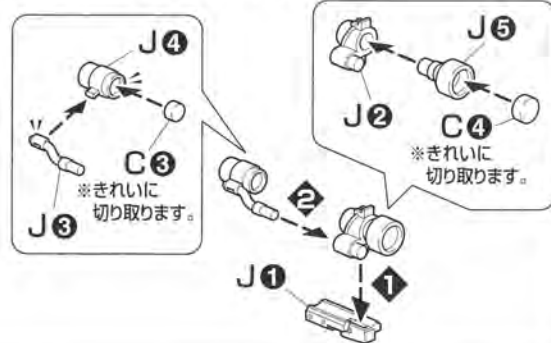


15 BAZOOKA

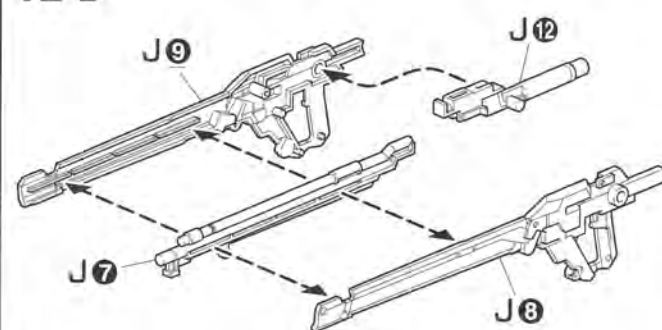


12-1 BEAM RIFLE

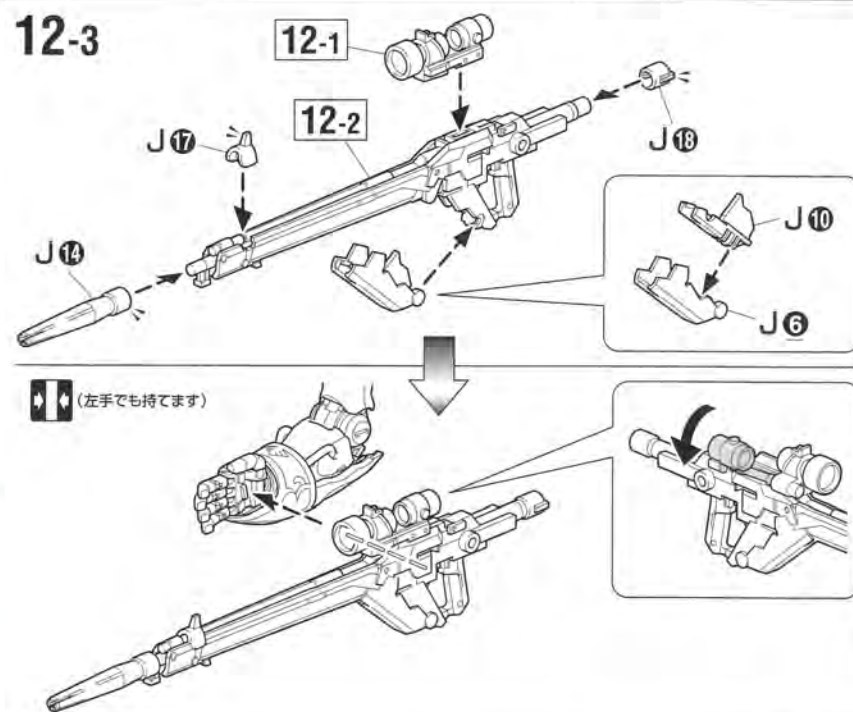
〔ビーム・ライフルの組立〕



12-2

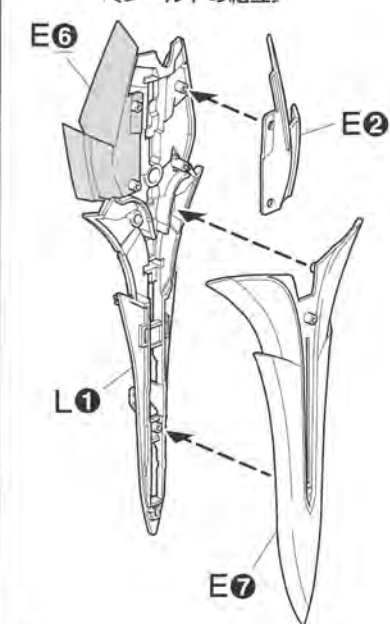


12-3

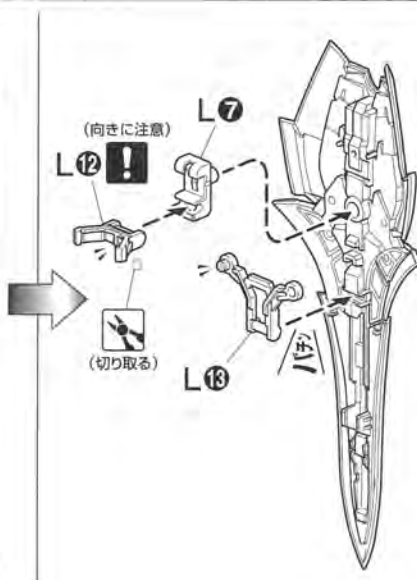
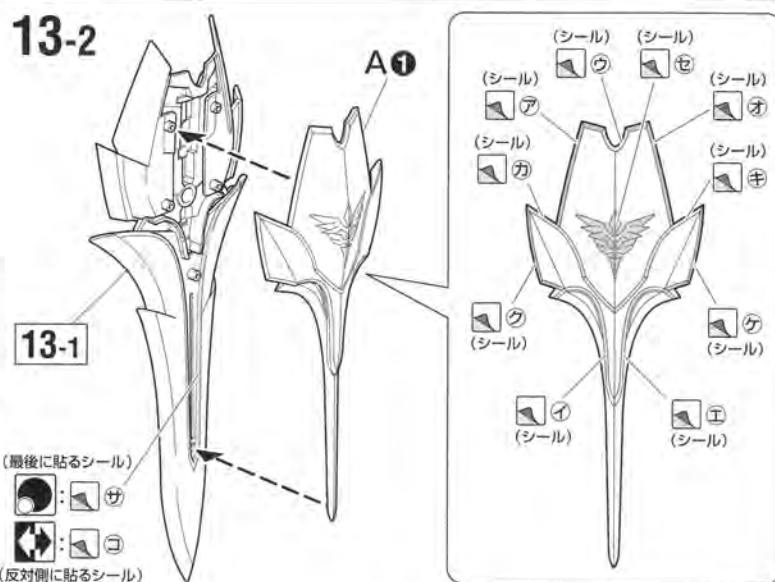


13-1 SHIELD

〔シールドの組立〕

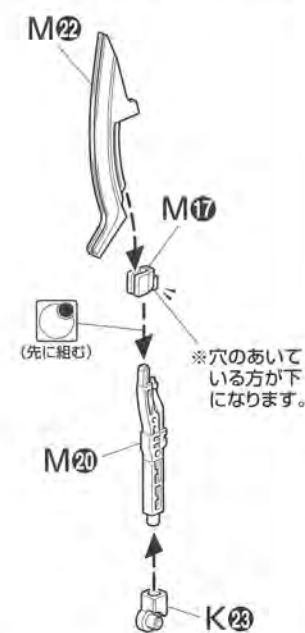


13-2

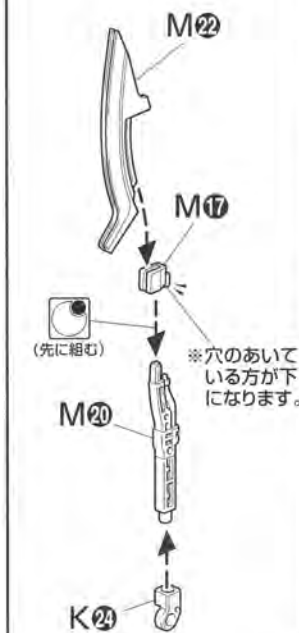


14-1 BEAM AXE

〔ビーム・アックスの組立〕

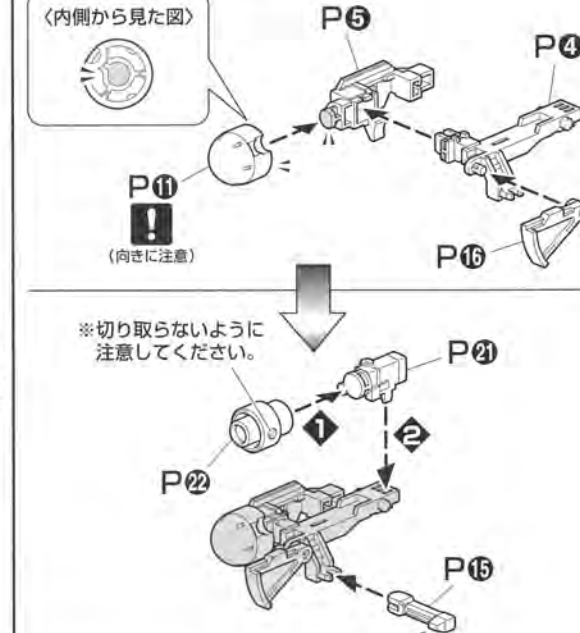


14-2

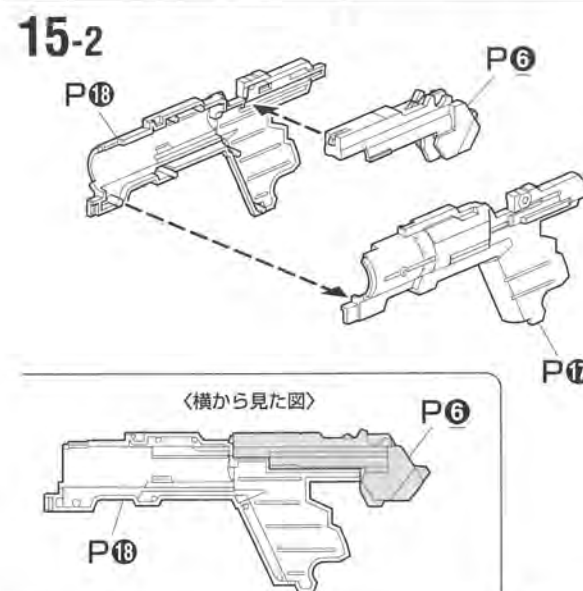


15-1 BAZOOKA

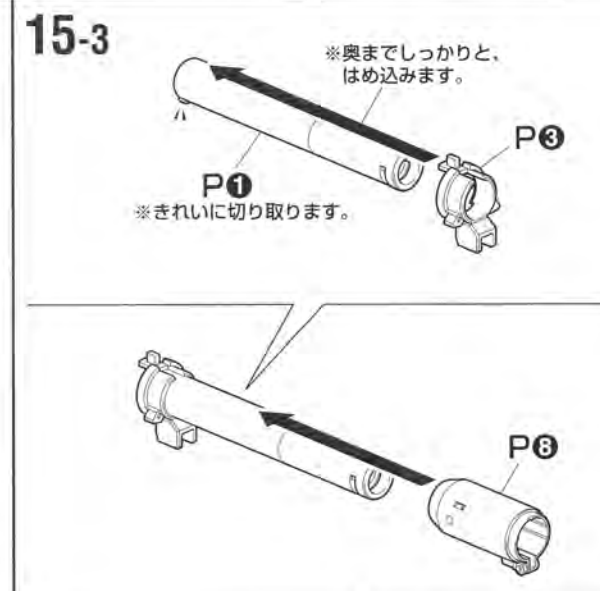
〔バズーカの組立〕



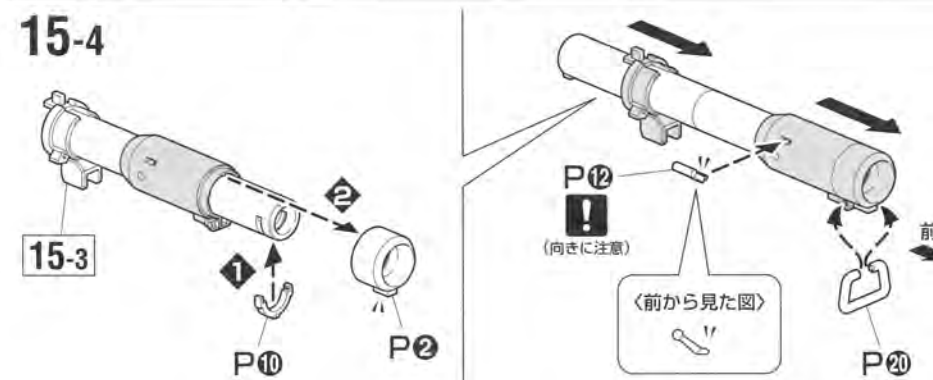
15-2



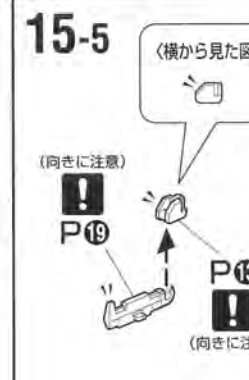
15-3



15-4

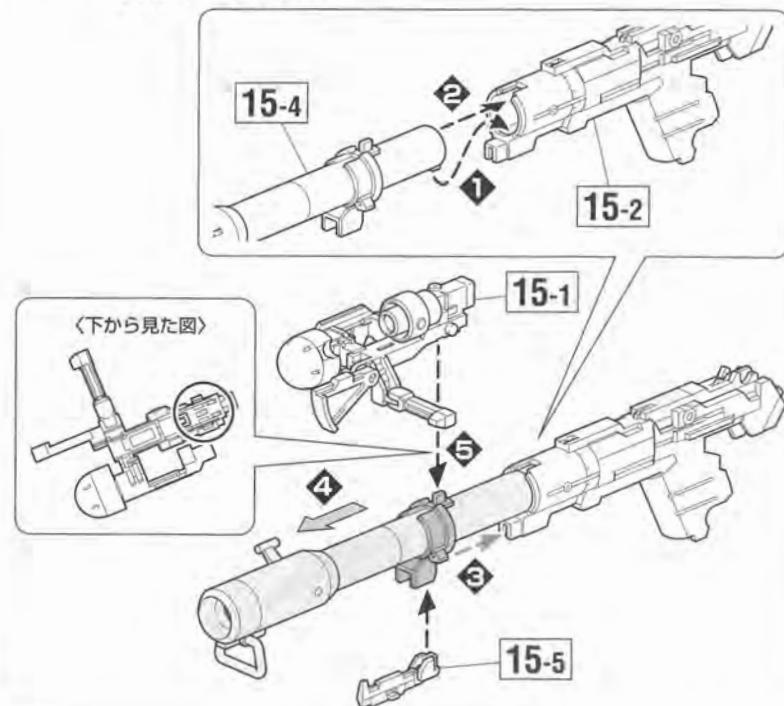


15-5



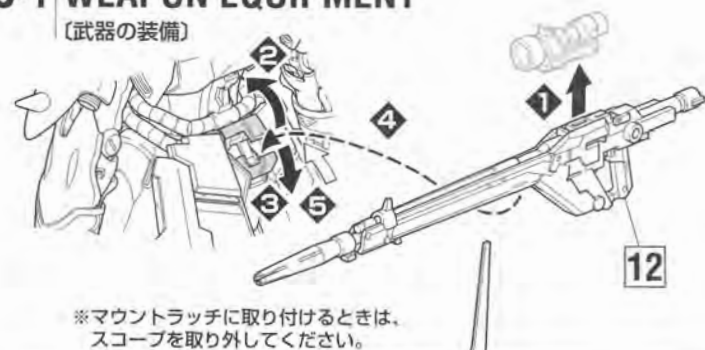
15-6 COMPLETION

〔バズーカ本体の完成〕

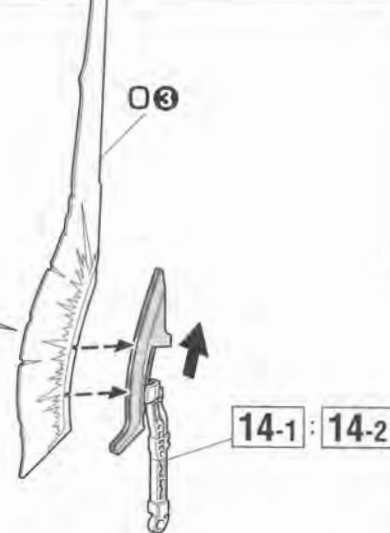
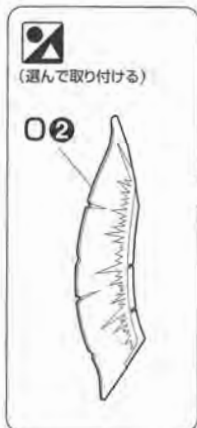


16-1 WEAPON EQUIPMENT

〔武器の装備〕

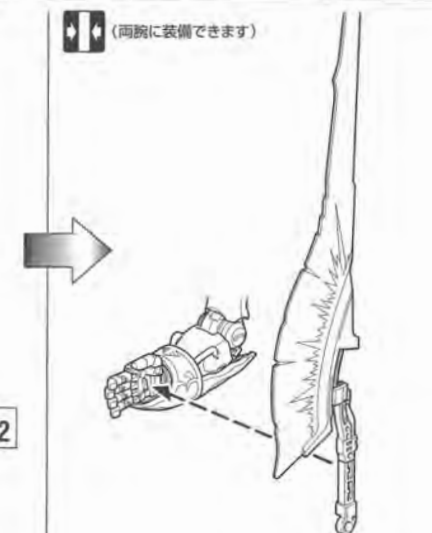
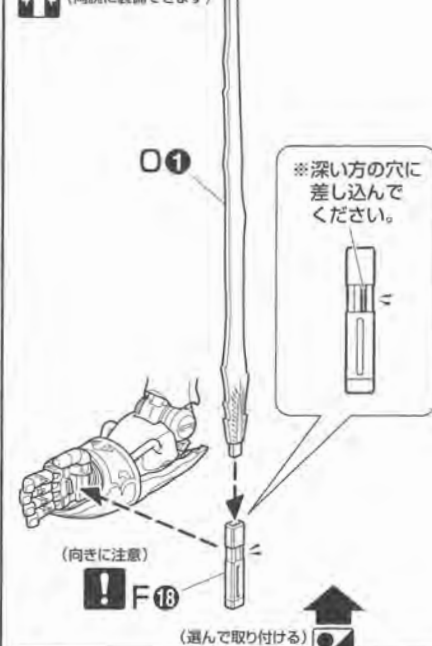


16-3

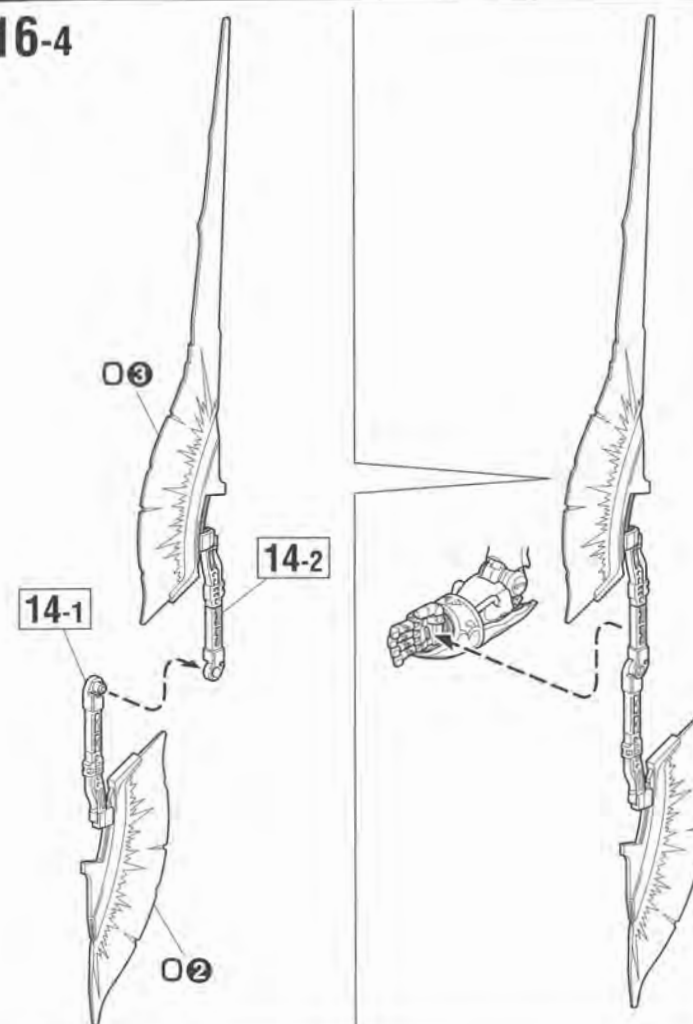


16-2

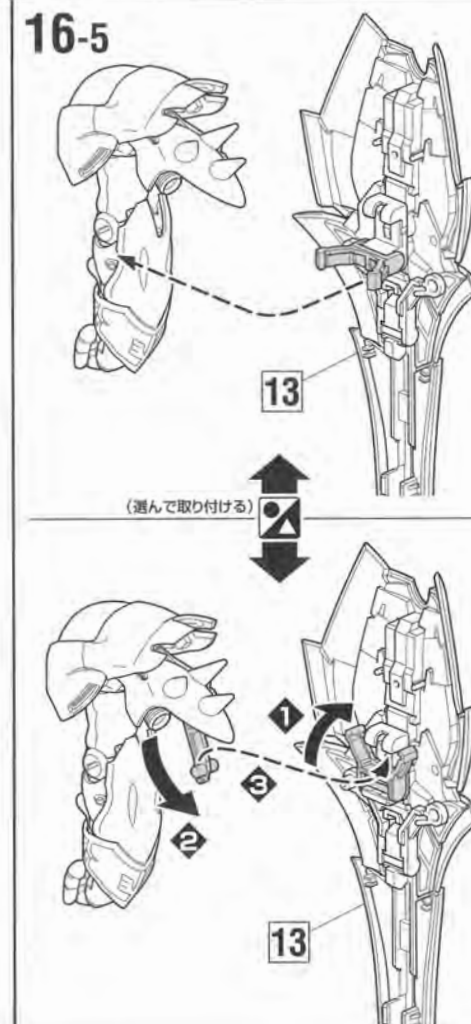
（両腕に装備できます）



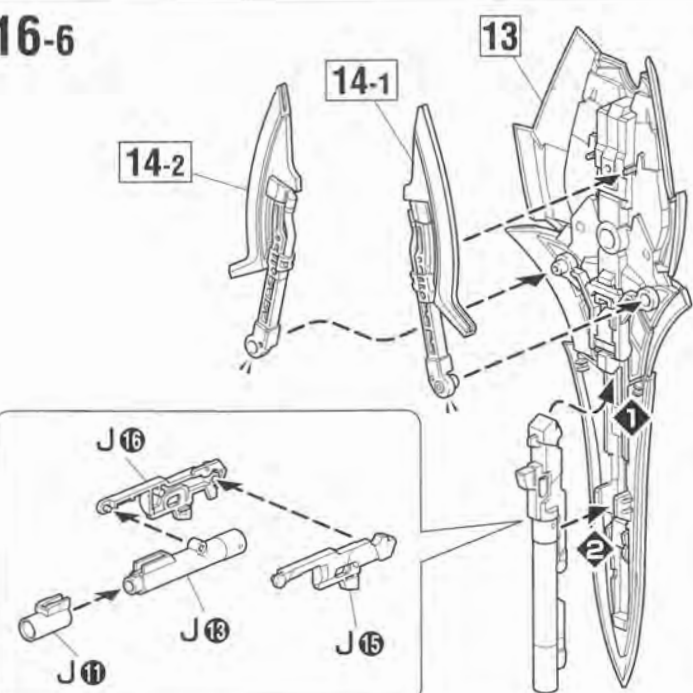
16-4



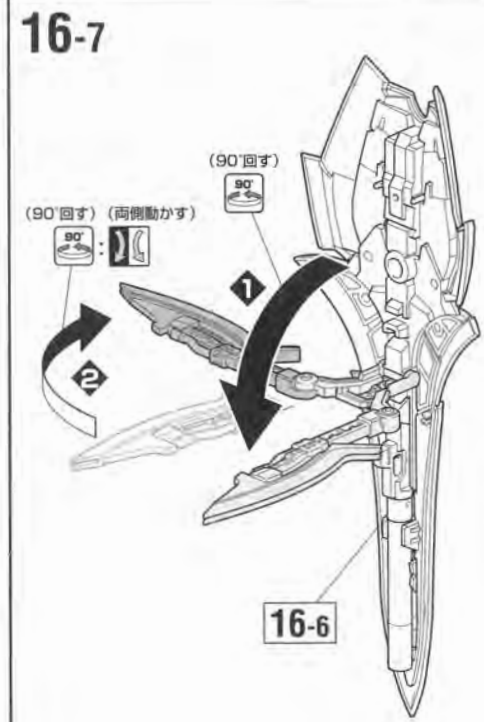
16-5



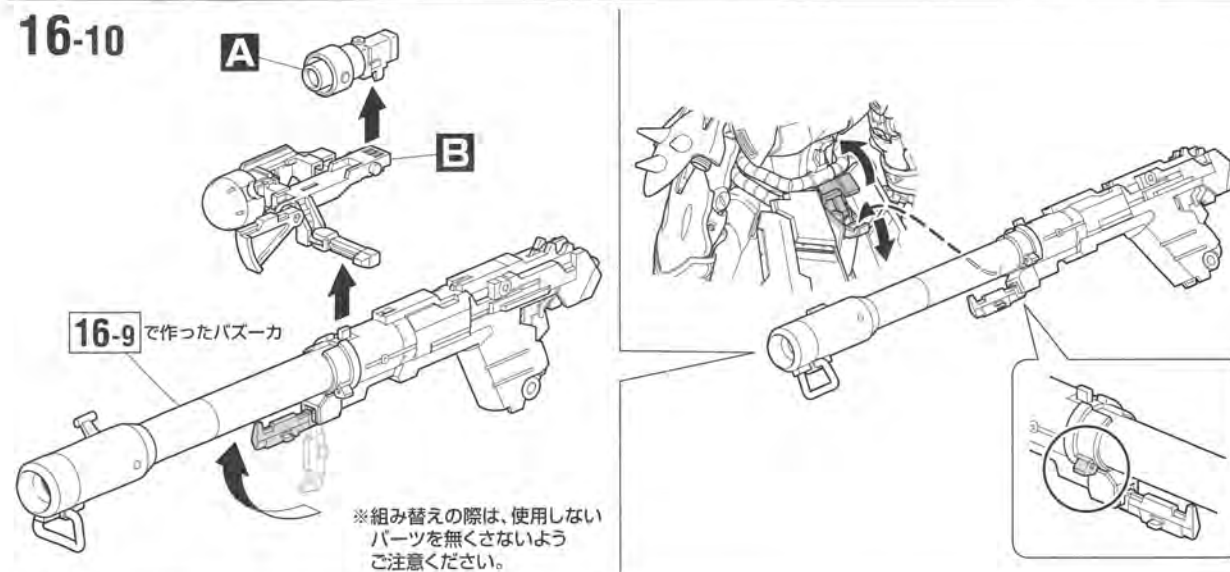
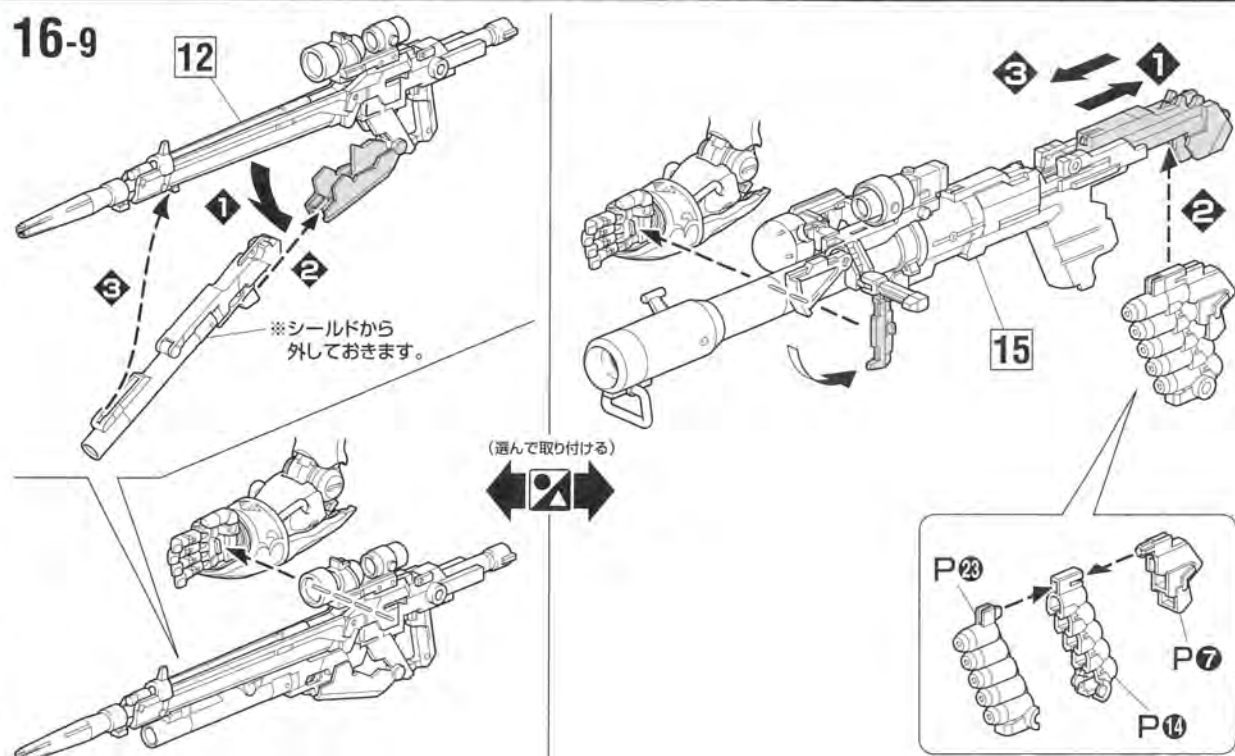
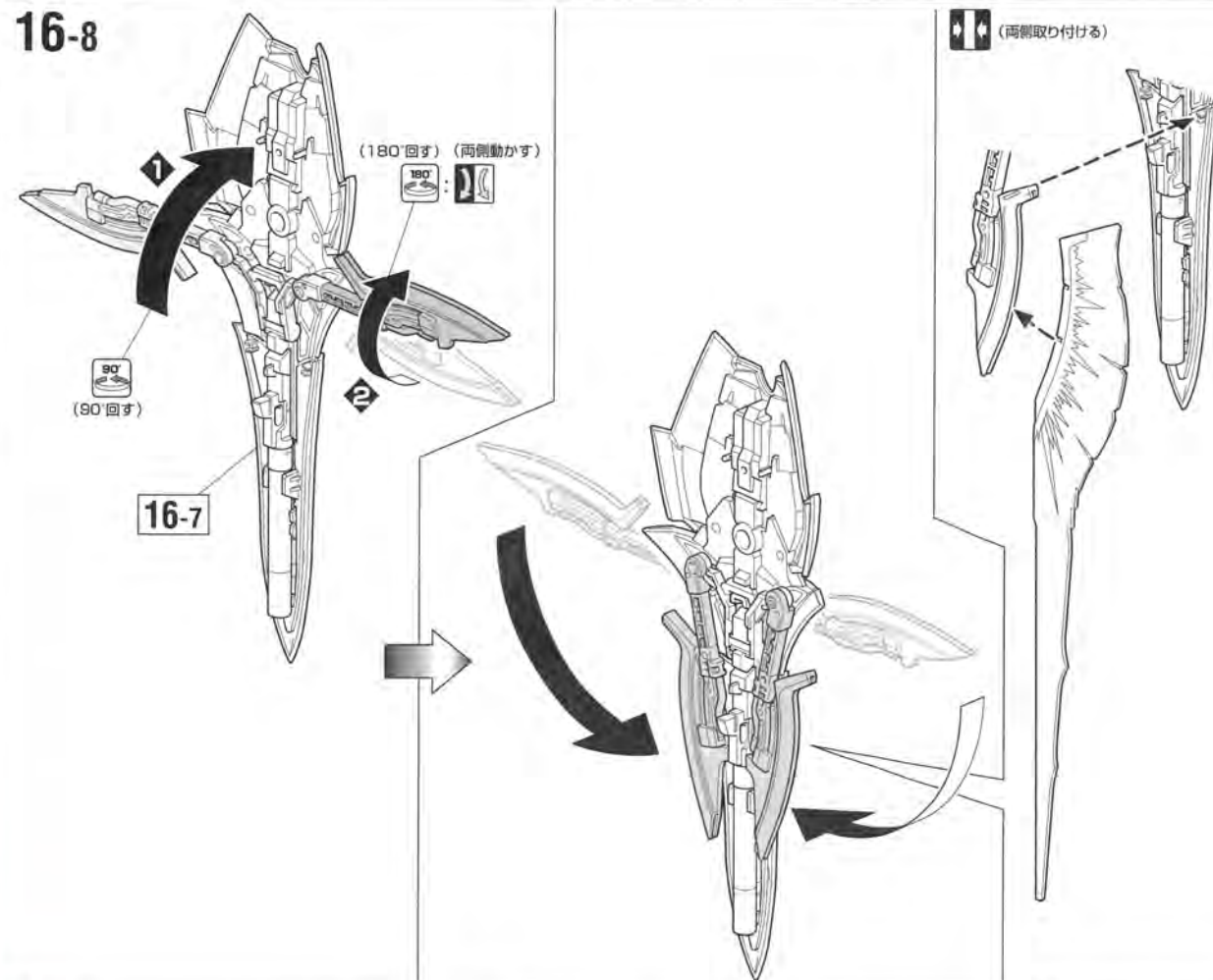
16-6



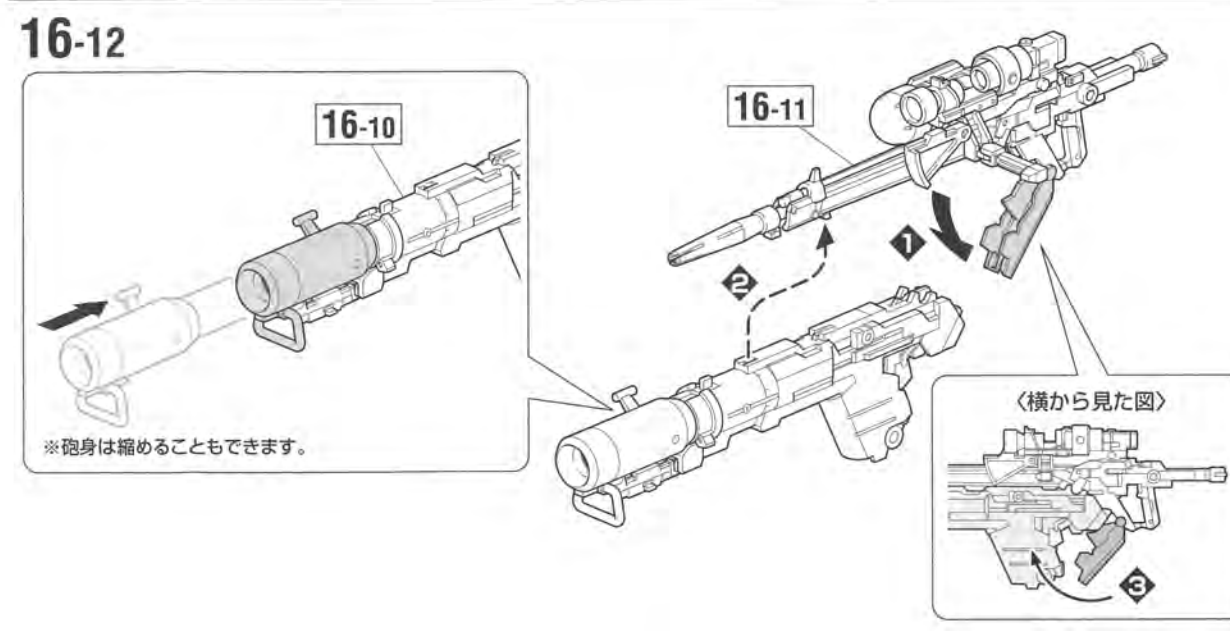
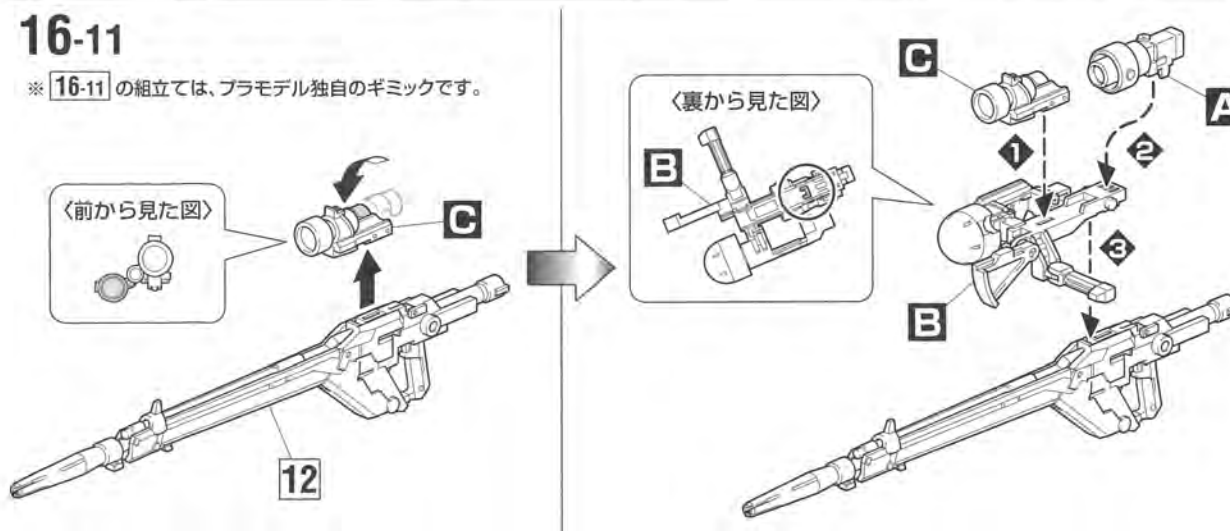
16-7



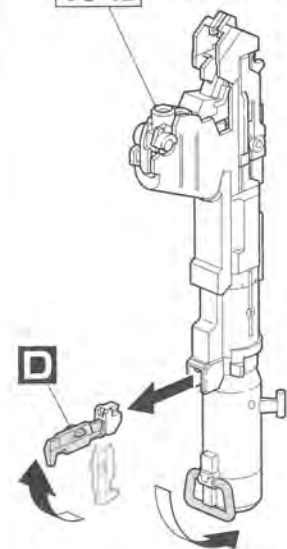
※イラストは、説明のためシールドジョイントを外してあります。



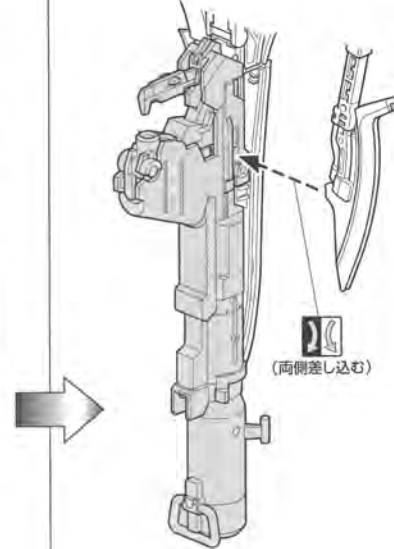
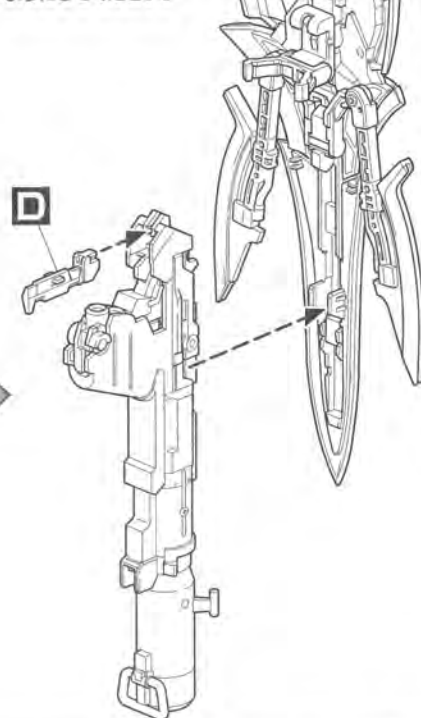
※16-11の組立ては、プラモデル独自のギミックです。



16-12 で作ったバズーカ

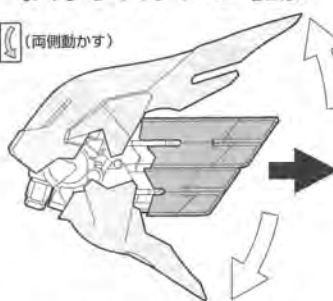


※シールドをイラストのようにしてください。



＜バックパックの可動＞

(両側動かす)



※上下のパーツを開くと中央のパーツが矢印の方向にせり出します。

＜脚部スラスターの可動＞

(両側動かす)



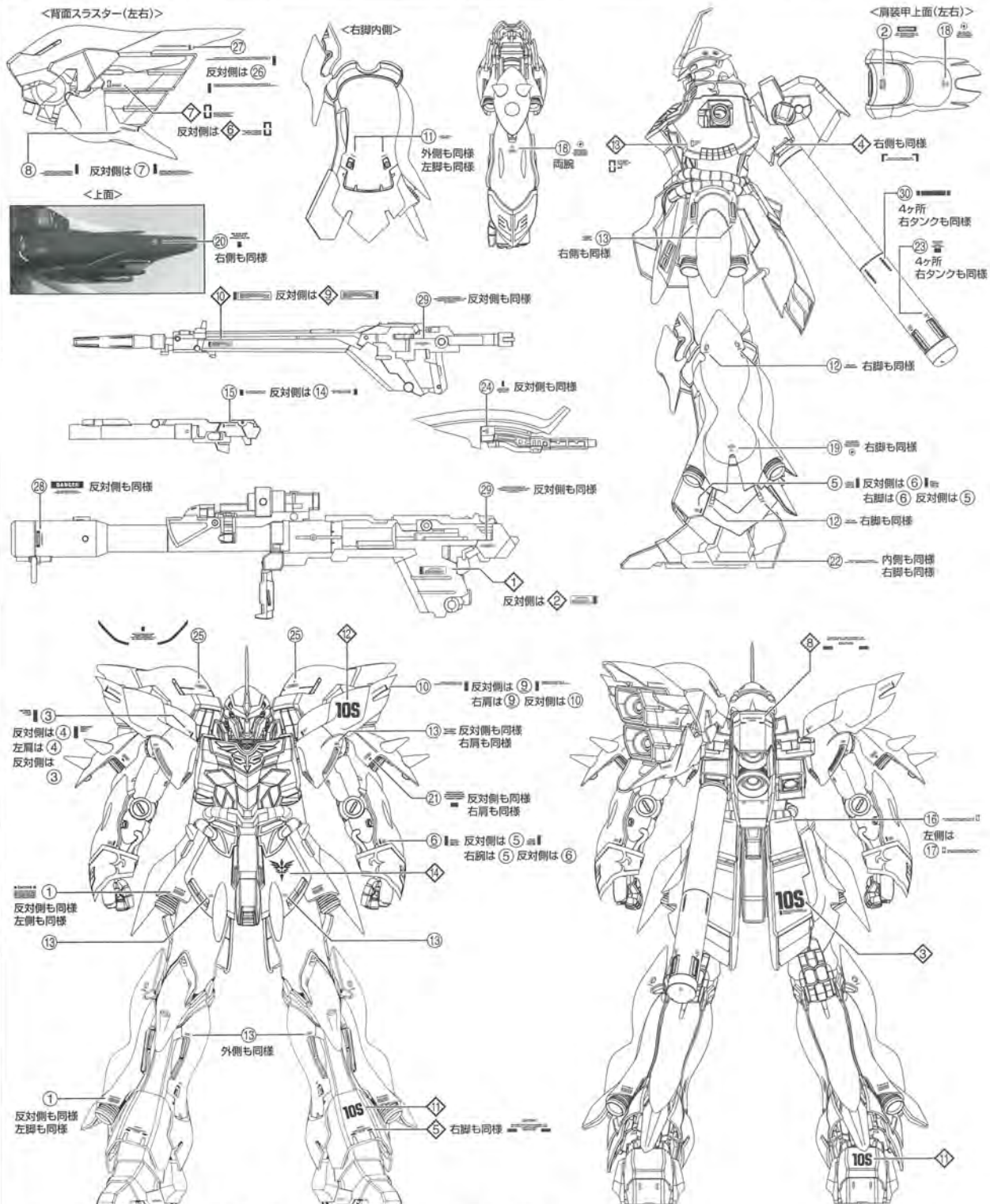
※画像の完成品は塗装してあります。
※画像はバンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用しています。

Seal

＜シール＞ 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。

【ガンダムデカールの貼りかた】

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりつけます。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのものです。
貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。